

## 写真撮影の手引き [内装材]

事業説明書「施工写真の撮影」の内容も踏まえ、「内装材の種類」に応じて撮影して下さい。

発注明細書（最終見積）、仕上表、図面等と照合しながら、木材製品が申請した通りに対象となる部屋の部位に使われているかを確認して撮影する。

また下記の時点①～④および内容で撮影すること。

### ① 荷受・検収写真 内装材が、建設現場で荷受けされた時（黒板あり）

※ 検収ごと（トラック搬入の場合はトラックごと）に撮影する

確認および 黒板記入	材料ごとに品名、品番、サイズ、数量などを確認して、 注文通りの木材製品、下地木材が届いていることを記録する。
---------------	---

### ② 施工写真 助成部位ごとに 木材製品の施工完了時（黒板あり）

確認および 黒板記入	木材製品ごとに ・品目、品名、品番、素材、寸法 ・施工された部屋、部位（床・壁・天井） ・施工範囲（面積） が間違いないことを確認し記録する
---------------	--

※ 下地木材も助成対象とする場合は、仕上材を施工する直前の写真も必要です。

### ③ 内観写真 助成される各部屋の施工完了時（黒板なし）

※施工部位だけでなく、全体像も判るように写す

黒板記入	・階、部屋名、施工面のほか、撮影方向なども併記
------	-------------------------

### ④ 外観写真 施工完了時（黒板あり）

※建物の全景を「2方向」から、足場シートがあれば出来るだけ開けて撮影する

黒板記入	・撮影面（東面、道路面など） ・何階建、棟なども併記
------	----------------------------

#### 黒板に記入する基本事項

ア) 工事名	事業申請書「物件の名称」の通り
イ) 撮影日時	令和6年〇月〇日
ウ) 施工部位	階・室名と 床・壁・天井の別
エ) 木材製品の種類	製品名、品番、寸法、数量等

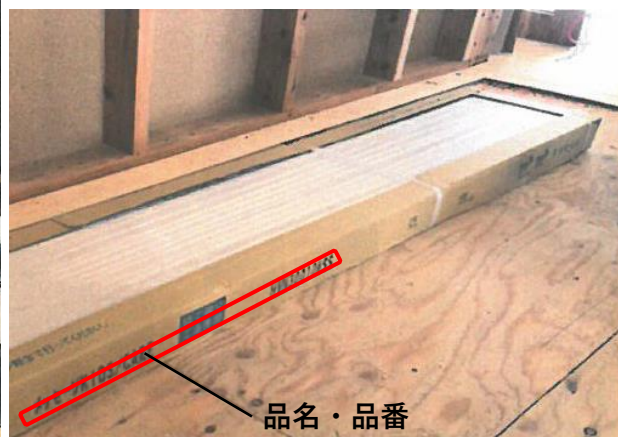
※木材製品の助成は、床・壁・天井の**仕上げの表面**が**木材**である必要があります。

## 施工写真書類の作成

- ※ 「写真貼付シート（荷受・検収～外観）」を使い、各時点の内容を作成し印刷の上、提出する。  
なおシート右側、記入欄には、工事黒板の通りに選択と記入をして下さい。
- ※ 写真は助成木材が判別でき、鮮明に写っているものを選び、各部屋の申請部位と範囲で「木材製品」が確認できる必要かつ的確な内容で作成する。

### 写真 参考例 （黒板には、**実際の内容**を記入すること）

- ① 助成木材製品の荷受け時 ・黒板に基本情報のほか、品名・品番・数量等を記入



- ② 木材製品の 施工完了時  
(黒板あり、なし)

・黒板に基本情報のほか  
階、部屋名、製品情報  
を記入

※下地木材も対象の場合、  
下地施工完了時の写真も必要

床：フローリング



木材製品の中、厚み計測



施工範囲の計測

軒・天井：杉縁甲板→



壁：木製パネル→

